

# ステーション Station

2011年2月25日発行

## 学生支援ステーションとは？

学生支援ステーションは、多種多様な学生の成長を支えることのできる学生支援機関として、従来の学生部学生生活相談室、就職相談室、障害学生支援室を統合して発足しました。

学内において、①学生の居場所の提供、②研究室、サークル、地域等既存のコミュニティの調整、③NPOや企業等学内外のコミュニティへの窓口という3つの主機能を担っていきます。

★こんな人は学生支援ステーションへ…

- ・なんとなく人付き合いがおっくう、カルト団体からの勧誘に困っている等 → 学生生活相談ユニットへ
- ・エントリーシートの記入方法、面接の受け方と注意点を知りたい等 → 進路相談ユニットへ
- ・障害学生への支援者の派遣、試験や課題における配慮の調整等 → 障害学生支援ユニットへ
- ・静かな場所でのんびり過ごしたい、誰かに話を聞いてほしい等 → コミュニティスペースへ

## Voice 特別編 この一年を振り返る②

前回の活動報告で、学生生活相談ユニットから和田相談員にこの一年を振り返っていただきました。今回は、安達相談員からです。

\*\*\*\*\*

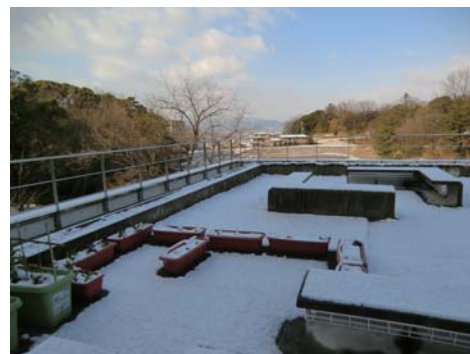
こんにちは。豊中キャンパスで学生生活相談員として勤務している安達友紀といいます。「はじめまして」という方のほうがずいぶんと多いと思いますが…。さて、学生支援ステーションが立ちあがって1年が経しました。1年間相談員として活動してきて感じたこと、考えたことを少し書いてみたいと思います。

私自身は学生支援ステーションが立ちあがる前から学生生活相談員として、豊中キャンパスで勤務していたのですが、基本的に相談室に1人で待機し、時折訪ねてこられる学生の面談を行っているという感じでした。まさに、個人による「点」の活動といった趣でした。

学生支援ステーションが立ちあがってからは、個別の相談に限らず、園芸体験や映画上映会など様々な企画を立ち上げたり、ニュースレターを通して学生支援ステーションの情報を発信したり、また、学生生活相談以外の他のユニットといっしょに学生の支援にあたりたりと、活動の幅が「点」から「線」、そして「面」へと広がっていくのを感じています。学生支援“ステーション”というだけあって、今いる場所からまた別の、次の場所へと向かうための中継点として、徐々に駅の形が整ってきたのかなあと個人的には思っています。

しかし、駅の形はできてきましたが、立ち寄ってくれる列車がまだまだ少ないのが現状です。引き続きふらっと立ち寄れるような心地よい場所づくりに取り組みながら、学生支援ステーションで何ができるのか、どういうための場所なのかというメッセージを伝えていきたいと感じています。実際に学生支援ステーションに来られた学生とのやり取りの中から、よりよい学生支援ステーションの活用法を見つけたいところです。

今後も大阪大学の学生1人1人にとって、学生支援ステーションが大学内にある資源としてどんどん活用されるように活動していきたいです。興味を持たれた方は豊中キャンパス学生交流棟2階奥の学生支援コミュニティスペースにお立ち寄りください。私たちスタッフがお迎えます。



雪化粧した屋上庭園

# 活動報告

## ■ フロントスタッフミーティング開催

学生支援ステーションでは、1月26日(水)に第2回「フロントスタッフミーティング及び講演会」をコンベンションセンターにおいて開催しました。

このミーティングは、障害を有する学生への対応や進路に関する相談等に挙げられる学生支援の多様化、複数の学部にもたがえるトラブル事案が発生している現状を鑑み、保健センター学生相談室の協力を得ながら各学部／研究科等における相談室等の現場レベルで相互に情報を共有することで、学生生活上の問題の予防や、問題発生時の対応を迅速化することを目的としています。

「大阪大学のメンタルヘルス」、「大阪大学におけるメンタルヘルスの現状と課題 -不登校事例を中心に-」と題した講演会を併せて開催し、大変有意義なものとなりました。

今後も定期的にフロントスタッフミーティングを開催

し、全学的・横断的な連携と情報の共有を進めていく予定です。



フロントスタッフミーティングの様子

## ■ 就職セミナー開催

就職セミナー「実践・ES対策」及び「実践・面接対策」を開催しました。吹田・豊中・箕面の各キャンパスで2日程ずつ各2回、計6回開催しました。いずれも活発な質疑応答が繰り広げられ、盛況のうちに終了しました。

## \*\*\* 編集後記 \*\*\*

今回も、前号に引き続き、学生生活相談員のスタッフからこの一年を振り返っていただきました。編集者・筒井は、両相談員の振り返りを読んで、中島みゆきの「糸」という曲を思い出しました。「縦の糸はあなた。横の糸は私。織りなす布はいつか誰かを、暖めうるかもしれない」。試行錯誤しながら紡がれていく様々な試みや、スタッフと学生の糸が交差し合っ、絡まり合っ……。そうやって「学生支援ステーショ

ン」という布は織りなされていくのでしょうか。

そして、このニュースレターも、布を織りなすための大切な糸だったんだなあということを改めて実感しました。微力ではありますが、来年度もニュースレターという糸をしっかりと紡いでいこうと決心させられた編集者であります。暖かくて丈夫な布が織りなされることを願って。

次号の Station は、4月22日発行予定です。

## 何かあったら一人で悩まずに学生支援ステーションへ！

私たちは、いつでもみなさんのお越しをお待ちしています。また、様々なイベントを企画中です。お楽しみに。

### 学生生活相談ユニット

### 進路相談ユニット

### 障害学生支援ユニット

開室時間・地区および連絡先 (予約不要・直接お越しください) <http://www.osaka-u.ac.jp/ja/guide/career/support>

	吹田地区	豊中地区	箕面地区		吹田地区	豊中地区	箕面地区		吹田地区	豊中地区	箕面地区
時間	午後1時～5時			時間	午後1時～5時			時間	正午～5時		
曜日	木	水・金	月	曜日	金	月・火・木	水	曜日	火・木	月・水	金
電話	(06) 6879 -7078	(06) 6850 -6651	(072) 730 -5089	電話	(06) 6879 -7078	(06) 6850 -5027	(072) 730 -5089	連絡先	電話・FAX : (06) 6879 -4762	電話・FAX : (06) 6850 -6107	電話・FAX : (072) 730 -5089
	E-mail : shien@ch.wani.osaka-u.ac.jp										

※進路(就職)相談ユニット：開室日時を臨時拡大中。詳細は上記URLへ